

小児科からのお知らせ



Hibについて

さしはら
小児科 指原 淳志



Hibとはインフルエンザ菌b型(*Haemophilus influenzae type B*)という細菌の略称です。名前がよく似ていますが、いわゆるインフルエンザの原因であるインフルエンザウイルスとは全く別の病原体で、乳幼児では重症の肺炎、喉頭蓋炎、髄膜炎など、重大な感染症の原因になります。

Hibワクチン Hibには極めて有効なワクチンがあります。これまでに世界で100カ国以上で使用されており、それらの国々ではHibによる髄膜炎の発生は激減しています。日本でもようやく2008年12月より接種が開始となりましたが、ワクチンを望む強い声にも関わらず十分な量を供給できていないのが現状です。

Hibによる細菌性髄膜炎 日本の5歳未満の乳幼児においては、細菌性髄膜炎の原因はHibが最も多く、とくに生後3カ月から2歳に多いとされています。治療は全身状態の管理と抗生物質の使用を早期に行うことが重要です。しかしながら早期診断が困難なことも多く、また治療にもかかわらず5%が死亡、20~25%がてんかんや難聴、発育障害などの後遺症を残すといわれています。さらに抗生物質が効きにくいタイプの菌が増えており、ワクチンによる予防の重要性が強調されています。



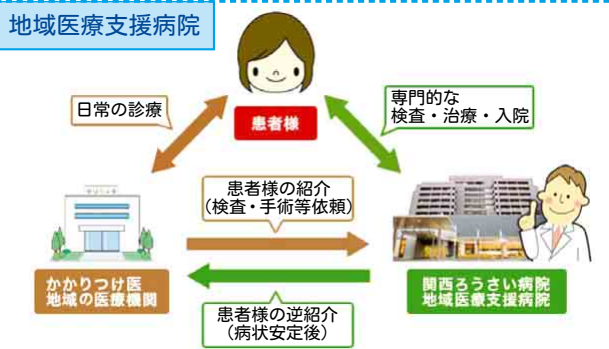
Hibワクチン接種、そのほかワクチンに関する相談を行っています。

関西労災病院小児科ではHibワクチン接種を行っています。また、ご希望に応じて、三種混合ワクチンとの同時接種も行っております。お子様の月齢・年齢によって接種回数が異なりますので、詳しくは関西労災病院小児科外来にお問い合わせください。さらに、アレルギーのためワクチンを接種できない、家族の海外渡航にともなうお子様のワクチン接種スケジュールについて、などワクチンに関するご相談にも応じております。ご相談内容をあらかじめご連絡いただいた上でご来院ください。

情報コーナー

関西労災病院は、H22.2月に**地域がん診療連携拠点病院**の更新承認をうけ、また、新たに**地域医療支援病院**の承認も頂きました。今後も地域とのつながりを大切に、患者さま第一の医療の提供を目指していきます。

地域医療支援病院



新しい医療機器の導入!! CT 320列(左)・MRI 3.0テスラ(右)

より精密な検査が受けられるようになります。(4月稼働予定)



詳しくは、次号で☆

独立行政法人 労働者健康福祉機構 関西労災病院
尼崎市稲葉荘3-1-69 TEL 06-6416-1221

HP <http://www.kanrou.net/>

発行人 奥 謙 編集人 福 山 裕